

市政について皆様の声をぜひお聞かせください!

目黒哲也 通信

議会報告 Vol.30

令和7年8月発行

目黒哲也
公式ホームページ
こちらから➡



●発行人 目黒哲也

所属委員会 ・社会厚生委員会 委員長 ・議会運営委員会 ・議会広報編集特別委員会
・都市計画審議会 ・新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員
・魚沼地域特別養護老人ホーム組合議会議員

●連絡先 目黒哲也後援会事務所

〒949-6612 新潟県南魚沼市東京田1076-1
TEL 025-773-6253 携帯 090-4011-7563
E-mail kinseikan.tetsuya430623@gmail.com

目黒哲也通信のバックナンバーを希望される方は、メールあるいは電話にてお気軽にご連絡ください

Facebook



Instagram



LINE



X



雪国のふるさとに熱き創造の息吹と 高き理想の光を!

今から44年前の1981年に創立された雪国青年会議所の創立宣言であります。この理念に胸を熱くしたのは、私が27歳の時でした。その想いは30年経った今でも色褪せることはありません。単なる言葉だけでなく、私の行動の根幹をなしています。

地域を愛し、高き理想を掲げ、必ずや実現しようとする情熱と、新しい価値を創造する英知、そして変化を恐れない勇気を持って地域の発展と福祉向上に30年間まい進してきました。まさに「雪国のふるさとに熱き創造の息吹と高き理想の光を!」の創立宣言は、私を牽引する原動力であります。改めてこの理念を確認し、自身の原点に立ち返ってみました。

昨年、南魚沼市市政施行20周年を迎え、これから10年、20年、50年先の未来をより明るく、豊かな南魚沼を創造して参る決意であります。

子どもたちが夢が持てる! 若者が理想が持てる! ミドルが希望が持てる! シニアが安心できる! そんな社会を市民の皆さんと一緒に築いて参りたい。

未来への架け橋

まちを元気に

活力を生む農業・観光・商工業の振興

まちを明るく

出産・子育てから教育まで一貫した環境の充実と支援、教育・福祉におけるインクルーシブ社会の充実

まちに安心を

医療・保健・福祉の充実、高齢者をはじめとする地域交通の整備、防災・減災の整備や体制強化

まちを豊かに

豊かな雪・水・大地の恵みを活用する再生可能エネルギーの普及

まちに笑顔を

市民総参画で躍動するまちづくり

プロフィール

生年月日/昭和43年(1968年)6月23日生(57歳)

学歴/六日町高等学校(昭和62年39回卒)、順天堂大学 体育学部健康学科(平成3年卒)

経歴/小千谷法人会 南魚沼地区理事

雪国青年会議所 第23代理事長、日本青年会議所 新潟ブロック第41代会長

六日町小学校 PTA会長(2004年~2006年)

南魚沼市PTA連絡協議会 初代会長(2005年~2006年)

一般質問

※質問と答弁は一部抜粋

① 街路樹・公園樹の整備と管理について

目黒 街路樹と公園樹を管理せよ

市長 次世代に豊かな緑を引き継がせる責務がある

目黒 市内に植栽された街路樹や公園内の樹木の種類はどれだけあるのか。

建設課長 公園内の樹木の種類や本数については把握できていないが、市道の街路樹については合計で321本。7割近くがイチョウ、そのほかアオギリ、ケヤキとなっている。

目黒 街路樹の剪定基準や方法は決められているのか。

市長 街路樹の剪定は予算との兼ね合いから剪定回数を増やすことが難しく、やむを得ず強剪定をする。また、降雪期に街路樹からの落雪によって歩行者や車両の事故を防止するために、樹木が本来持つ美しい樹形を損なう剪定を実施せざるを得ない場合も出てくる。

目黒 街路樹や公園樹の剪定は、街路樹剪定士などの資格者をお願いをしているのか。

建設課長 剪定は、建設会社や造園業者をお願いしているが、特別そういった資格までは確認していない。

目黒 街路樹の樹木の特性や性質を無視した強剪定が行われており、本来の樹形が乱れ美観を損なわれているものがよく見られるが、どう思っているのか。

市長 公園樹や街路樹は、地域のランドマークとして親しまれる一方で、近年は市民ニーズの多様化に伴い、剪定や枝打ち、また植栽升や幹回りの除草、落ち葉の集積・収集処理など要望が多い。きれいだと思ってる人はいないんで

すよ。邪魔者扱いしてる人もいっぱいいるんです。複雑な思いを持っている。

目黒 この現状から公園樹や街路樹の推進はどうしていくのか。

市長 この議論をずっとしていても、大変困ったという話のほうが多くなってしまい、ならば植えないほうがいいという議論になってしまうと、本当になにか寂しい。いろいろ考えてみたい。

目黒 今後の街路樹や公園樹の計画はあるのか。

市長 街路樹や公園樹は一度植栽されると樹齢が長いので、長期間にわたって都市環境に影響を与えるため、場当たりの管理はいけない。長期的な視点に立った計画的な管理が不可欠であるという認識をしている。

目黒 将来の街路樹や公園樹への思いは。

市長 適切に管理していくことで快適な都市空間を維持していきたい。次世代に豊かな緑を引き継がせることも我々の責務である。このままでは、我々世代だけが日本の象徴のような素晴らしい桜を愛で、次世代が見られないという事態が生まれる。今までの管理は、効率を優先して樹形や景観への配慮が不足していたと切に思っている。まちづくりの観点から真剣に考えてみたい。

市内の残念な事例

浦佐駅から北里大学へ向かう路線は、街路樹が立ち並ぶ先に駒ヶ岳を望む美景であった。

しかし残念ながら、誤った剪定によって目黒区の上昇するコルク層および皮膚がはがれてしま





一般質問

※質問と答弁は一部抜粋

② 行政ポイント事業について

目黒 米っこカードの可能性は

市長 地域の経済循環の有効的なツール

目黒 行政ポイント事業を導入した目的は。

市長 市が実施をする事業やボランティア活動の参加促進を図る。また、継続的な健康づくりの取組や、まちづくり事業への参加に対する動機づけに加え、行政と商店街が協同して市内経済の活性化を目指すことが目的である。

目黒 加盟店を増やす啓発活動は計画されているか。

市長 加盟店の拡大のために、令和6年度から端末導入費用や加盟店募集などの取組支援を行っている。商工業振興事業補助金などを計上して、期間限定で買い物をするとポイントが10倍付与となる事業や、アプリ登録者にポイントを進呈するキャンペーンを実施する予定でいる。顧客のリピー率向上や、売上げの増加など加盟効果やメリットのあるプロモーションをかけていきたい。

目黒 現在の加入者数は3,300人、利用可能な店舗は58店舗にとどまっているが。

市長 このたび、物価高対策として予算を付けた。加えて救急講習や筋力づくりサポーターの養成講座等の研修会への参加等の健康ポイント事業、図書館やディスポートの利用等々に行政ポイントを発行していく計画であるが、まだ認知

はそれほど広がっていないのが現状。今は過渡期である。

目黒 米っこカードの今後の展開は。

市長 行政ポイントを充実させ、付加価値を高めることで地域通貨にかわる地域の経済循環、また地域の活性化への新たな仕組みづくりのツールとして有効であると考えている。だから、商工会が力を入れて取り組んでほしいと話をしているが、まだ本気になってないのが実情なんではないかな。やがてそうしていく。

目黒 行政窓口や公共施設において行政ポイントと連動したキャッシュレス決済への取組は。

市長 キャッシュレスが当たり前になってきている。

目黒 マイナンバーカードを活用して、そのクレジットカード会社のポイントや航空会社のマイレージ等を行政ポイントに変換し、米っこカードに付与する取組の考えは。

市長 即答できない。やるかどうか別として参考にさせてもらう。

日照を遮るものがなくなってしまう、水分が
まい、無残な姿となってしまった。



そしてその末路は……。



毎年開催される銭淵公園観桜会は、今年は4月11日から開催する予定でしたが、残雪の影響で15日からの開催となり27日に終了しました。13日間で、29,000人ほどの来場者がありました。

連日、春を待ちかねた市民はもとより、各地から花見に訪れる人たちで賑わい、地元のキッチンカーや屋台の出店、六日町温泉旅館組合女将会の抹茶サービス等、ここ数年で一番の盛り上がりでした。雪国の春の一大イベントになるよう育ていきたいと思っております。

加えて、30数年前に坂戸区有志で植樹された花みずき街道も見事に育ち、春の開花と秋の紅葉の時期には市民ばかりでなく、観光客の目を楽しませております。

街路樹や公園樹は、観光ばかりではなく道路や周辺の景観を快適にするほか、道路の安全確保や延焼を防ぐ防災機能、遮音や遮光、二酸化炭素吸収、さらには昆虫や小鳥の生息地になるなど、環境を守る機能や人間に潤いを与える重要な機能や役割があります。

しかしながら、場所によっては見るだけで心を痛めるような、ぶつ切りや枝おろしも見受けられます。生き物としての樹木を適正に管理・育成し、街路樹や公園内の樹木の持つ機能や役割を最大限生かして、市民生活に役立てる姿勢が必要ではないかと考えます。

南魚沼市緑地保全条例でも良好な環境を確保するために、公園・広場・学校・保育所・道路その他の公共用地の緑化に努めるとともに、市の緑化の推進に必要な施策を行うものとする定められております。

しかしながら、魅力的な景観を保持していく一方で、豪雪地であること、また高木等の成長も著しく交通量が増加する中で視界の妨げとなったり、高齢化等により地域住民による落ち葉の清掃等の負担等、課題は多い。次世代に樹木を遺していくためにも、50年後、80年後を見据えた計画が必要と考えます。

南魚沼ポイント会の新ポイント制度である米っこカードが令和7年4月1日より導入されました。行政との連携によって地域経済の活性化や市民生活の向上等が期待されます。

このポイント事業は、「始めてみたばかりだから」という悠長な姿勢ではなく、経済循環を目指すためにも商工会と行政が協同して魅力的な企画を次々とスピードある展開をしていくことが肝心であると考えます。

健康ポイントのほかに、市が指定するイベントや事業への参加、ゼロカーボン宣言した環境への取組、新健診施設利用促進の事業、子育て・出産祝いへの付与等々、さまざまなインセンティブが考えられます。また行政窓口や公共施設において、行政ポイントと連動したキャッシュレス決済への取組も重要ではないかと考えます。

加えて、ある調査によると各種クレジットカードのポイントや航空会社のマイルは、年間約4,000億円分発行されていて、そのうち約3割から4割が使われず期限切れを迎えるといわれています。マイナンバーカードを活用して、そのクレジットカード会社のポイントや航空会社のマイレージ等を行政ポイントに変換し、米っこカードに付与する取組も有効であると考えます。

新たな地域活性化のツールとして期待できます。



米っこカード

会場でお待ちしております

第25回 南魚沼市 魚野川 鮎まるかじり祭



期日 **令和7年8月23日(土)**

荒天により中止の場合、翌週8月30日に延期とします

会場 **南魚沼市六日町魚野川坂戸橋下流**

時間 **午前11時から午後9時まで**

鮎販売及び交換は午後8時まで

前売券発売中 ¥3,200

当日券 ¥3,500

(焼鮎2匹・生ビール3杯)

〈問合せ先・チケット販売〉

南魚沼市観光協会 ☎025-783-3377

六日町観光協会 ☎025-788-1703

飲酒される方は車の運転はできません。一般交通機関の利用をお願いします。